

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	県内在住ベトナム人の集 in ながの2016
事業主体 (連絡先)	長野県ベトナム交流協会 (電話:026-233-1124, E-mail:k-masuno@ceres.ocn.ne.jp)
事業区分	教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	662,136円 (うち支援金:369,000円)

事業内容

- ①集い・交流会と
- ②経済セミナー

《 ①集い・交流会 》

1. 開催日 2016年10月8日(土)~9日(日)
2. 開催場所 峰の原高原(須坂市)
3. 主催者 県内在住ベトナム人の集 in ながの2016実行委員会 & 長野県ベトナム交流協会
来賓として駐日ベトナム大使館 公使参事官グエン・チュオン・ソン閣下、長野県県会議員小川修一氏、長野県経営者協会課長・梶田能孝氏

《 ②ベトナム経済セミナー 》

- A. セミナー講師: 公使参事官グエン・チュオン・ソン閣下
- B. パネルディスカッション「今を生きる」
コーディネーター: 榊野金治郎、パネラー 坂本誠治(G 開発(株)社長)、酒井公子(学校を贈る会)谷口雅則(日本語指導員)
会場からの意見参加者: 信州大学V留学生、アヴァシスV、川上村V職員、その他V人

事業効果

- ①ベトナム人(以下ベトナム人をVと表記)の信大生5人、V主婦2人(千曲市・上田市)、企業雇用V社員2人が積極的に参加して運営を手伝った。その後の活動の通訳、V本国とのつなぎ役、行政機関との橋渡しをしている。
- ②今回、事務局に参加してくれた9人のVの方々が地域や学校での核になっている。地域の市民と良好な関係づくりをしている。既に、東北中学校に於いて信大V学生は国際教育の中で中学生にベトナムの文化を教え始めた。
- ③駐日ベトナム大使館は長野県の民間の運営を常に本国へ報告してくれている。産業・農業・観光・教育・人材の交流に、今回の地域の民間交流は欠かせないものである。

今後の取り組み

1. ベトナム人自身による県内地域でのイベントの開催を実現し、地域に根を下ろすよう補助的に当交流協会が関わっていく。
 2. 災害等に地域の中で、防災に関わって貢献していけるようにする。
 3. ベトナム国家農業大学と信州大学農学部のMOUは12/10実現。
 4. 県内の地域サッカー・ファンを結集し、AC長野パルセイロレディースとベトナム女子サッカー代表の親善試合を実現させよう。スポーツを通し、長野市民とベトナムの市民との交流を深める。
 5. 参加した上田市のV主婦が、ホームページを立ち上げ、これからの交流を模索し始めた。積極的に今回の宣伝をしていくとのこと。
- ※ 残念なことに県は後援しなかった。今後は後援をお願いしたい。
(信州大学農学部・藤田学部長とベトナム国家大学の学長のMOU調印式)➡



【ベトナム人と市民の交流会】

【目標・ねらい】

- ①ベトナム人がイベントの事務局に参加
- ②ベトナム人が来なくなる長野県づくり
- ③ベトナム人と県民の良好な関係づくり
- ④元気づくり支援金でイベントを成功
- ⑤人、技術の相互交流の親善を深める

※自己評価【A】

【理由】

参加者こそ少なかったものの、実習生の抱える問題がわかり、課題が明確になった。それ以上にベトナム人の参加者の意欲と力が引き出せた。その後の交流に大きく貢献できたのではないかと。



クワン国家主席(右)と話す副都知事=24日、ハノイ市(本社 網田充登撮影)
県知事のベトナム訪問(信濃毎日新聞)



(別記様式第12号) (第3の8関係)